

第31回日本作業行動学会総会議事録

総会の招集：2021年5月21日（金曜日）

議決手続き：2021年5月28日（金曜日）から2021年6月2日（水曜日）

議決：2021年6月6日（日曜日）12時

開催場所：一般社団法人 日本作業行動学会 事務局

静岡県浜松市北区都田町1230番地

常葉大学保健医療学部作業療法学科

有効会員数：60名

委任状提出および議決権行使：60名

- | | |
|-------|----------------|
| 第一号議案 | 2020年度活動報告 |
| 第二号議案 | 2020年度決算報告 |
| 第三号議案 | 2021年度活動計画 |
| 第四号議案 | 2021年度予算 |
| 第五号議案 | 論文表彰 |
| 第六号議案 | 人間作業モデル認定セラピスト |
| 第七号議案 | 研究助成 |
| 第八号議案 | 次年度の学術集会 |

第一号議案 2020年度活動報告

1 <総会>

WEB上で、2020年6月22日に総会の招集、2020年6月22日から2020年6月26日に決議の手続き、2020年6月30日の9時に決議を行った。

2 <学術集会>

新型コロナウイルスの流行により、開催中止となった。

3 <講演会、講習会>

開催はしなかった。

4 <編集委員会・機関誌の発行>

作業行動研究第24巻第1号、同第2号、同第3号、同第4号を発行した。毎号につき機関誌「作業行動研究」を1000冊発刊した。

5 <会員>

現在会員数557名(2021年5月10日現在)

6 <運営のための会議等>

2020年4月2日

社員総会の招集と提案内容について審議をした。

2020年6月19日

総会議案について審議をした。

2020年6月30日

代表理事選出について審議をした。

2020年7月14日

機関誌編集委員の組織体制について審議した。

7 <事務局>

会員の入退会処理、会費管理、税務管理、機関誌印刷と発送の運営実務を担当した。

→ 以上、異議なく承認された。

第二号議案 2020年度決算

1 貸借対照表

貸借対照表
(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,465,890	流動負債	0
現金及び預金	5,465,890	固定負債	0
固定資産	0	負債合計	0
有形固定資産	0	(純資産の部)	
無形固定資産	0	基金	0
投資その他の資産	0	利益剰余金	
		その他利益剰余金	5,465,890
		(うち当期純剰余金)	553,018
		純資産合計	5,465,890
資産合計	5,465,890	負債・純資産合計	5,465,890

2 損益計算書

損益計算書 (自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
(経常損益の部)		
経常損益		
事業収益		
会費等収益	2,456,000	
販売収益	23,000	
	2,479,000	
財務収益		
受取利息	14	
雑収益	82,105	
	82,119	2,561,119
経常費用		
事業費用		
支払助成金	60,000	
印刷製本費	1,408,275	
	1,468,275	
管理費用		
通信費	4,878	
事務委託費	404,304	
諸謝金	12,640	
租税公課	600	
支払手数料	21,404	
	443,826	
財務費用	0	
		1,912,101
経常利益		649,018
(経常外損益の部)		
経常外収益		
寄附金収益	0	
	0	0
経常外費用	0	0
税引前当期純利益		649,018
法人税、住民税及び事業税	96,000	
法人税等調整額	0	96,000
当期純利益		553,018

監査報告書

監事意見書

一般社団法人 日本作業行動学会
会長 石井 良和 殿

意見書作成日 2021年5月3日
一般社団法人 日本作業行動学会

監事

岩瀬義昭 

私は、2020年4月1日から2021年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

- 1 私は、必要と認めた監査手続きを実施して、財務諸表、領収書等を閲覧調査し、当法人の状況を正しく示しているかどうかについて監査を行いました。
- 2 監査の結果、理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。また、財務諸表、領収書等は当法人の状況を正しく示しており、収支状況を適正に表示しているものと認めます。

→ 以上、異議なく承認された。

第三号議案 2021 年度活動計画

1 <総会>

WEB 上で、2021 年 5 月 21 日に総会の招集を、2021 年 5 月 28 日から 2021 年 6 月 2 日に決議の手続きを、2021 年 6 月 6 日の 12 時に決議を行う。

2 <学術集会>

新型コロナウイルスの流行から、2021 年 6 月 6 日に WEB 開催する。

3 <講演会、講習会>

人間作業モデル関連研修会の開催を検討する。

4 <編集委員会・機関誌の発行>

本年度より 2 年間の任期で、現編集委員全員を再委嘱するとともに、新たに 4 名を推薦し、本人から承諾が得られた場合、編集協力者とする。投稿論文の査読、機関誌の発刊、電子ジャーナル化の検討を行う。

機関誌「作業行動研究」第 25 巻第 1 号、同 2 号、同 3 号、同 4 号の発行を行う。各巻の発刊部数は、在庫の保管スペースの不足傾向を理由に、今年度より 600 部に変更する。

5 <会員>

会員の入会を促進する。

6 <運営のための会議>

運営にあたる会議（2021 年 4 月 1 日、同年 4 月 30 日、同年 5 月 18 日）を開催する。

7 <事務局>

会の運営の実務を担当する。

事務所所在場所を「静岡県浜松市北区都田町 1230 番地 常葉大学保健医療学部作業療法学科野藤研究室」から「静岡県浜松市北区都田町 1230 番地 常葉大学保健医療学部作業療法学科」に移転することを令和 3 年 4 月 1 日の理事会で承認し、同年 4 月 5 日に登記を完了した。

→ 以上、異議なく承認された。

第四号議案 2021年度予算

1 2021年度予算案

2021年度（令和3年度）予算案
（自令和3年4月1日 至令和4年3月31日）

（単位：円）

科 目	前年度決算額	当年度予算額	差 額	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入				
会費等収入	2,456,000	2,210,000	-246,000	前年度実績×0.9
学術集会参加費等収入	0	300,000	300,000	参加費@3,000×100名で算出
会費収入計	2,456,000	2,510,000	54,000	
②雑収入				
受取利息収入	14	14	0	
販売収益	23,000	10,000	-13,000	機関誌販売@1,000
雑収入	82,105	14,844	-67,261	
雑収入計	105,119	24,858	-80,261	
事業活動収入合計	2,561,119	2,534,858	-26,261	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
旅費交通費	0	200,000	200,000	
通信費	0	1,000	1,000	
会場費	0	0	0	学術集会はオンライン開催
支払助成金	60,000	310,000	250,000	表彰論文@30,000×2名 研究助成金@250,000
消耗品費	0	50,000	50,000	
諸謝金	12,640	53,000	40,360	
印刷製本費	1,408,275	1,550,000	141,725	
事業費支出計	1,480,915	2,164,000	683,085	
②管理費支出				
通信費	4,878	15,000	10,122	
交際費	0	30,000	30,000	
会議費	0	15,000	15,000	
事務委託費	404,304	160,000	-244,304	
消耗品費	0	3,000	3,000	
租税公課	600	0	-600	
支払手数料	21,404	26,000	4,596	
管理費支出計	431,186	249,000	-182,186	
事業活動支出合計	1,912,101	2,413,000	500,899	
事業活動収支差額	649,018	121,858	-527,160	
II 法人税、住民税及び事業税	96,000	96,000	0	
当期収支差額	553,018	25,858	-527,160	
前期繰越収支差額	4,912,872	5,465,890	553,018	
時期繰越収支差額	5,465,890	5,491,748	25,858	

→ 以上、異議なく承認された。

第五号議案 論文表彰

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
なお、今回の表彰は、以下の通り、編集委員会の推薦を受けて、理事会で決議された。

【研究論文】

丁子雄希・他：クライアントと作業療法士の協業関係尺度(Collaborative relationship scale between clients and occupational therapists, CRS)の尺度特性の検討. 24 巻 2 号 p41-49

【事例報告】

原田佳典・他：AYA（Adolescent and Young Adult）期の脳腫瘍クライアントに対して人間作業モデルに基づく作業療法が Quality of life の向上をもたらした事例. 24 巻 1 号 p29-36

→ 以上、異議なく承認された。

第六号議案 人間作業モデル認定セラピスト

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
なお、第 31 回総会に認定を受けたのは以下の会員である。

新川正二 （伊敷病院）

→ 以上、異議なく承認された。

第七号議案 研究助成

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
なお、2020 年度は該当なしと理事会で決議された。


→ 以上、異議なく承認された。

第八号議案 次年度の学術集会

大会長は、竹原 敦氏とし、群馬パース大学において現地開催を計画する。

→ 以上、異議なく承認された。

上記の通り、相違のないことを証明する。

議事録署名人：吉政豪也 

議事録署名人：鹿田将隆 